

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2005

Vol-5

77



それ行け!! 安全くん

「目とタイミングはハズすな!」の巻

●解説コーナー

「平成17年度全国労働衛生週間」

「チームで安全を考える」

「腰痛予防は正しい姿勢から」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.17

「マドンナもはまった日本の粗食」

●NISHIO TOPICS

夏のイベントで活躍したNISHIOの通信映像機器

●お知らせ・情報コーナー

国土交通省「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定



表紙写真：
法起寺（奈良県）



インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それ行け!! 安全くん

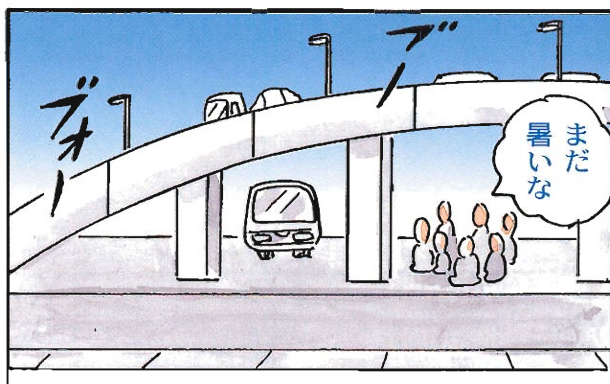
画 中村よしのぶ

連載 その77

「目とタイミングはハズすな!」の巻

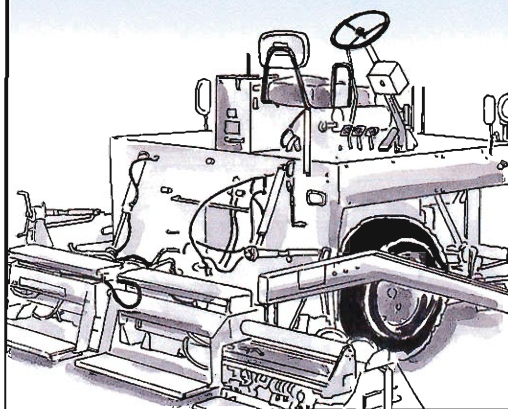
info
motion

表紙の写真



午前中の作業が順調に進み昼からの合材到着までに少し時間ができたので皆を集めて話し出すガンさん

道路補修工事に入っているハナマル工務店のメンバー



日本建造物シリーズ 第8回 「奈良・斑鳩の法起寺三重塔」 現存する木造建築物として世界最古の法隆寺。その近くに建つのが最古の三重塔のある法起寺。これは、慶雲3年(706年)に建立されたもので、現存する三重塔としては日本で最大(23.9m)。国宝にも指定されています。屋根の勾配はゆるく、軒が深い飛鳥時代の様子を伝えています。1993年12月「法隆寺地域の仏教建造物」の一つとして世界文化遺産に登録されました。



解説コーナー

平成17年度全国労働衛生週間 (本週間:10月1日~7日/9月準備月間/第56回)

■今年度スローガン

「働き過ぎていませんか 働き方を見直して 心とからだの健康づくり」

最近、実態が明らかになり大きな問題となっています石綿による肺がん、中皮腫の件や依然として全疾病者数の約6割を占める腰痛、そして、じん肺症などの職業性疾患は後を絶たず、有機溶剤中毒、一酸化炭素中毒、酸素欠乏症等の災害も繰り返し発生しています。

今後、石綿を使用した建築物等の解体等の作業の増加が予測されており、当該作業による労働者の石綿ばく露が懸念されています。

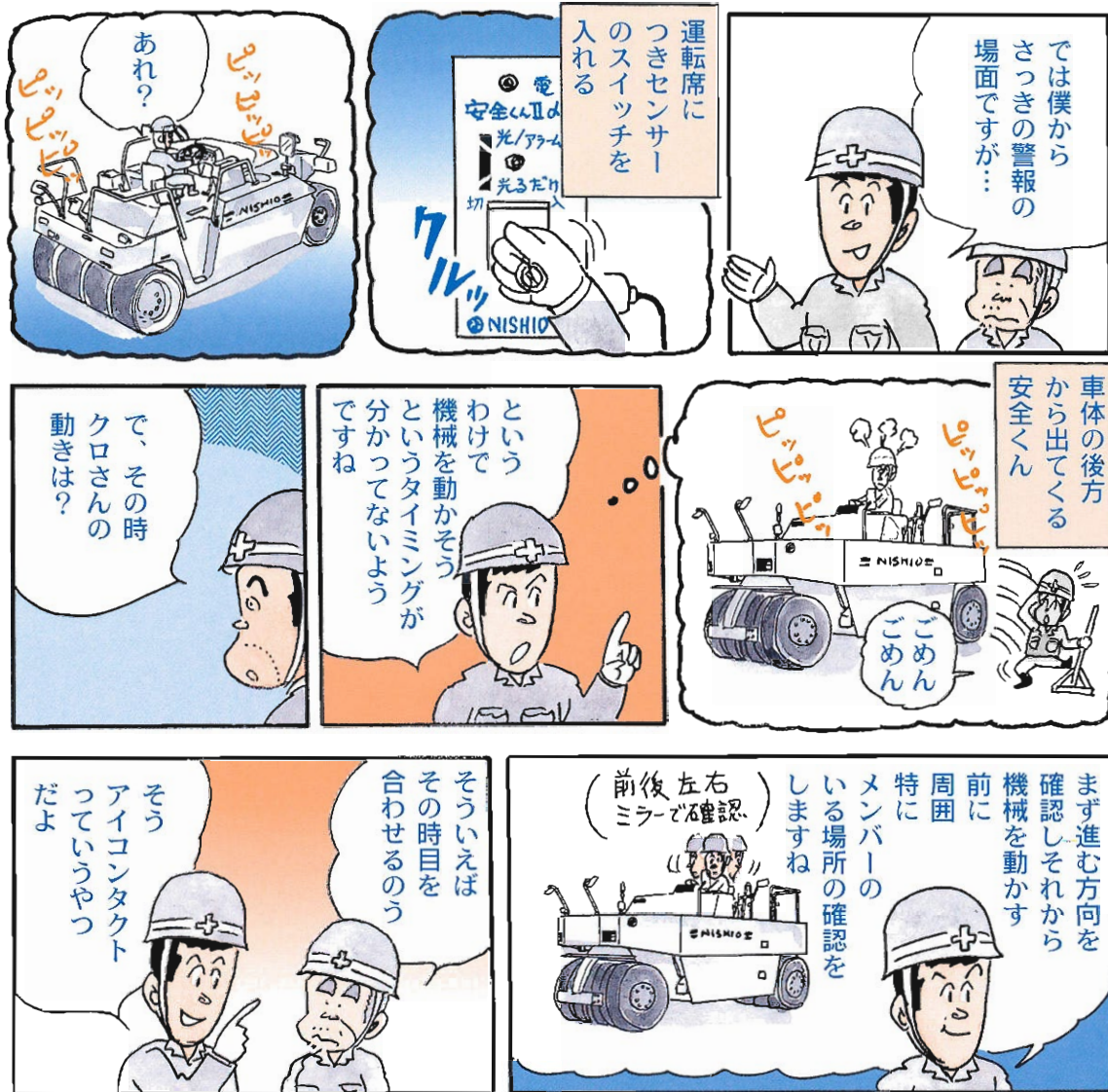
また、一般定期健康診断の結果、脳・心臓疾患につながる所見など、何らかの所見を有する労働者の割合は増加を続け、平成16年は47.6%にも上っているそうです。労働時間が長短二極に分化している中で、脳・心臓疾患に係る労災認定件数は、年間300件前後と高い水準で推移しています。

そして、仕事や職場生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者の割合は6割を超えており、業務によるストレスなどにより精神障害を発症する事案は年々増加し、平成16年度には自殺を含め130件が精神障害等として労災認定されているそうです。

これらの問題は、「事故」「災害」というような痛みをともなうハッキリとした被害、危険ではないだけに、労働者一人一人が職業性疾患の恐ろしさと正しい対策等の知識を身に付け、実践していかなければなりません。

今回のアスベストの問題や電車事故は、私たちへの大きな警鐘となっています。いろいろなかたちで開催される労働衛生関係の講演会への参加や資格取得などに積極的に取り組み、将来への安心も確保していきましょう。

(緑地に白十字=労働衛生旗)



解説 コーナー

チームで安全を考える

現場にいる皆さんは、重機作業（今回のマンガではローラ）での危険は頭に入ってますよね。まず、①重機の前後が危ない（前後進時）、②オペレータの死角が危ない（後方および前方）、③一旦停止して次の動きに入る際が危ない（作業再開時）。これだけ注意しておけば、ローラに関しては相当災害が防げるのでは？ でも、実際に事故が起こるのは何故でしょうか？

この場合の当事者は、重機オペ、周囲の作業員数名、そして監督（監視員）。状況によっては他の重機も関係してくるケースもあります。それぞれが作業の危険を認識しつつも、ついうっかりして危険ゾーンに入ってしまったたり、「オペレーターは自分の存在（機械の前後にいる）に気付いている」（今、動かさない）あるいは、「作業員はこれから重機を動かすことを分かってくれている」（離れてくれる）との勝手な思い込み、期待などによって事故が発生します。全て監視人による合図、号令で作業する方法があるでしょうが、夜間工事の際や作業スピードを考えると無理があります。

そこで、これらのメンバーが一つのチームとして安全面や効率を考えプレー（作業）することが重要になります。危険予知シートなどを使って、「オベはこんな心理状態だったのでは？」とか、「こんな場面では自分はこんなことを優先する、イメージする」とか、「他のメンバーにはこうして欲しい」などと話し合いながら、危険な場面とそこでのそれぞれの考えや動きを分析理解していくと、現場においても一瞬のアイコンタクトでお互いの意思が通じ、次のプレー（作業）に反映できるのではないのでしょうか。これらは、過去の経験や普段の生活の中でも行っていることです。お互いを知る。間違いや問題点を指摘しあう。チームとしてのルールを決めていく。ミーティングを面白く、意味のあるものにしていってください。



ガンさんのワンポイントレッスン

『コミュニケーション力』

(齋藤孝 著 岩波新書)より

著者の齋藤氏は、明治大学文学部の教授で、その著作が注目され、テレビでもコメンテーターとして活躍されています。(専門は教育学、身体論、コミュニケーション論) ビジネスの世界や教育現場でも非常に評価されており、書店でもコーナーができる程です。その中の1冊「コミュニケーション力」に「コミュニケーションを円滑にするための身体に関する基本原則」として4つ挙げられていますのでご紹介いたします。



①目を見る、②微笑む、③うなずく、④相槌を打つ。

どれもごくちやうどできるようになると、コミュニケーションが深まり、職長として伝えたいことや聞き出したいことがスムーズにできるのではないのでしょうか。しかし、この中で一番難しいのが「目を見る」こと。確かに目を見なければ、目と目が合うことはありません。齋藤氏は、イメージとして「目と目が合ったときに、人と人との間に“線”が繋がわり、その上に言葉をのせていくとすいぶん相手に届きやすい」とされていました。でも、恥ずかしい、見透かされる感じがある、という方も多いでしょう。努力が必要ですが、単に目を見るだけでは難しくとも②微笑みながら、③うなづきながら、④相槌を打ちながら、目をあわせてみると、少しはやさしくできそうな気がします。

この他にもこの本には、いっしょに笑うこと、車座で話すこと、方言の効用など、我々もなんとなく気付いている事項をうまく解説されており、自分の力(コミュニケーション力)にできるヒントが書かれています。参考にしてみてください。



SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

プレート・タンピングランマーのトラブルシューティング

道路舗装や歩道、駐車場、溝埋設工事など締め固めに使用されるプレートとタンピングランマー。機体に大きな振動を発生させるので、各部位に負荷がかかり磨耗や劣化がすすみ本来の機能を発揮できなくなります。

◆ 転圧盤は消耗品？

転圧盤は消耗品です。長期使用することで盤は擦りへります。プレートは前方向に偏った減りができることがあります。(一部、機種により盤の逆付けができます。) タンピングランマーは転圧盤が擦り減ると、安定も悪くなるので早めの交換をしましょう。また、防振用ラバーも劣化するので交換をしましょう。

◆ トラブルシューティング

症状	原因	対策
エンジンがかからない	燃料コックが開いていないか	→ コック「開」
	燃料ホースの洩れ	→ 修理・交換
	プラグはスパークしているか	→ 清掃・交換
起振・打撃力が弱い	Vベルトの張り・クラッチの入り具合	→ 調整
	アクセルワイヤーの伸び	→ 調整
	エアフィルタの目詰まり	→ 清掃





解説 コーナー

腰痛予防は正しい姿勢から ~76号の“職業病”のアンケート第1位「腰痛」~

今や国民の10人に1人が悩んでいるといわれる「腰痛」。治療経験をお持ちの方も多いのでは？でも、いくら治療を施しても、ふだんの姿勢が悪いとまたすぐに腰が痛くなってしまいます。腰痛予防のキーワードは、「日常生活で正しい姿勢をとり、いかに腰に負担をかけないか」が重要ポイントです。正しい姿勢をチェックしてみてください。

■立つ姿勢

軽くアゴを引き、背筋と膝を伸ばす。壁に背中を当てて立ち、後頭部・背中・お尻・かかとが壁につく状態かをチェック。ガニマタ、猫背、片方の足にだけ重心がかかるのはNG。

■座る姿勢

いすに座るときは、お尻が背もたれに密着するよう、深く腰かける。軽くアゴを引き、背筋を伸ばしてお腹を引っ込める。膝がお尻よりわずかに高くなるのが理想。あぐらや、足を投げ出して座る体育座りは腰に負担をかけるのでご注意。

■重いものの持ち方

一度しゃがみこみ、腰を曲げないで、体全体で持ち上げる。膝を十分に曲げ、お尻を落として持ち上げる。荷物をお腹に抱え込んだ状態で足の力で立ち上がる。荷物を運ぶときは、荷物を体に密着させて運ぶ。

■寝る姿勢

十分にリラックスできる姿勢が基本。寝具は、やわらかいマットや高すぎる枕だと、腰が落ち込んで反りすぎ、背骨が不自然に曲がってしまうこともある。痛みがあるときは、腰を「く」の字にして、横向きに寝る。あお向けの場合は、膝の下に座布団などを置いて寝るとよい。



SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

エンジンハンドカッターのトラブルシューティング

路面のアスファルトやU字溝、ヒューム管などコンクリート二次製品の切断作業に用いられるエンジンハンドカッターですが、動力特有のトラブルとダイヤモンドブレードの目立てについてまとめてみます。

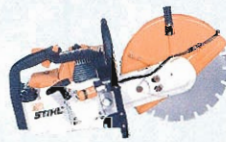
◆ダイヤモンドブレードの目立て

切れ味の落ちた刃は、刃の表面上にダイヤが見えなくなります。そんな時は、土や砂、柔らかいブロックを1m位切るとダイヤが目出しでき切れ味が戻ります。(コアカッターも同様)

ダイヤモンドブレードはコンクリート及びアスファルトの切断用です。ガラスや木材、ゴム類、金属、塩ビ管などプラスチック類は切らないでください。

◆トラブルシューティング

症状	原因	対策
始動しない(オーバーフロー)	プラグがスパークしない、燃料がない	プラグと燃料を点検
	キャブレターのセッティング不良	調整
	エアフィルターが詰まっている	フィルターの清掃
切断時、刃の回転速度が落ちる	ドライブベルトの張りが不十分	ベルトの張りを調整



※ダイヤモンドブレードは、「研削といし」に該当しますが、刃を取り付けた際は試運転をおこなってください。始業前点検も忘れずに！

